

日本ケベック学会 2023 年度総会議事録

2023 年 10 月 7 日（土）17:20–17:50

聖心女子大学

議長に片山幹生会員が選出された。

会員総数 114 名（うち休会者 8 名）中、出席 25 名・委任 81 名（返信のなかった欠席者を含む）により、総会は成立したことが議長により確認された。

【報告事項】

1. 2022 年度活動報告

関幹事長より、昨年 10 月以降の活動として以下が報告された。

- ・ 2022 年 10 月 15 日：2022 年度全国大会および総会を関西学院大学にて対面およびオンラインにて開催
- ・ 2022 年 11 月 19 日：オンラインにて開催された ACEQ 大会にジャン＝フィリップ・クロトー会員が参加
- ・ 2022 年 12 月 17 日：第 7 期第 5 回理事会および研究会（立教大学にて対面およびオンライン開催）
- ・ 2023 年 3 月 25 日：第 7 期第 6 回理事会および研究会（立教大学にて対面およびオンライン開催）
- ・ 2023 年 6 月：会員名簿を更新、PDF で会員に配信
- ・ 2023 年 7 月：役員選挙を実施
- ・ 2023 年 7 月 15 日：第 7 期第 7 回理事会および研究会（立教大学にて対面およびオンライン開催）
- ・ 2023 年 9 月 18 日：第 7 期第 8 回理事会（オンライン開催）

2. 15 周年記念事業

真田副会長より 15 周年記念事業として、ケベック研究関連書誌が完成したこと、HP のリニューアルが 10 月末に予定されていること、ジャック・ラクルシエール著『ケベックの歴史』（水声社刊、訳者：小倉和子・小松祐子・古地順一郎・伊達聖伸・矢内琴江）が 9 月 30 日に刊行されたこと、さらに日本ケベック学会編『ケベックを知るための 56 章』が明石書店から刊行予定であることが報告された。

3. 各部署報告

各部署より以下の報告があった。

- ① 渉外： スティーブ・コルベイユ委員長より、本年度の「AJEQ-AIEQ 小畑ケベック研究奨励賞」選考結果について、古澤有峰会員の「「ケベックにおけるスピリチュアルケアの 25 年」とその現状について」に決まったことが報告された。
- ② 学会誌：大石編集委員長に代わり廣松学会誌編集委員より『ケベック研究』第 15 号

が完成したことが報告された。第 16 号の投稿期限は 2024 年 1 月 15 日となっており、新たな「投稿規程・執筆要項」を確認して、ぜひ投稿いただきたい旨、呼びかけられた。

- ③ 広報：小松広報委員長より、HP・ニューズレター・ブログ・フェイスブック・X の活用についての報告があった。あわせて、学会 15 周年記念事業の一環として、2023 年 10 月末までに HP のリニューアルが予定されていることも報告された。

3. 入退会報告

関幹事長より、2022 年 10 月 16 日から 2023 年 10 月 7 日までの入退会者等について以下の報告があった。

入会 2 名および賛助会員として 1 社、休会 0 名、退会 2 名。

【審議事項】

1. 2022 年度決算・監査

河野理事より 2022 年度の決算報告、曾田監事より監査報告が行われ、採決の結果、承認された（別紙参照）。

2. 第 8 期役員構成

丹羽会長より第 8 期の役員構成について、以下のように提案がなされ、採決の結果、承認された。

会長：丹羽卓、副会長：スティーブ・コルベイユ、廣松勲、関未玲、顧問：小倉和子、監事：加藤普、曾田修司、理事：荒木隆人、大石太郎、片山幹生、河野美奈子、小松祐子、真田桂子、杉原賢彦、橘木芳徳、西川葉澄、村石麻子

3. 2022～23 年度事業活動計画

関幹事長より以下の活動計画が提案され、採決の結果、承認された。

- a. 年次大会（2024 年 10 月）
- b. 学会誌第 16 号発行
- c. 研究会・講演会の開催・共催
- d. 韓国ケベック学会との交流
- e. 国際ケベック学会や国際フランコフォニー学会への参加
- f. 学会ニューズレターの発行
- g. HP・ニューズレター・ブログ・フェイスブック・X・メーリングリストを通じた会員への情報発信

4. 2023 年度予算

河野理事より 2023 年度の予算案が示され、採決の結果承認された（別紙参照）。

5. 第16回 AJEQ 全国大会

杉原企画委員長より、2024年10月5日（土）または10月12日（土）に広島大学での開催が提案され、採決の結果、承認された。

以上